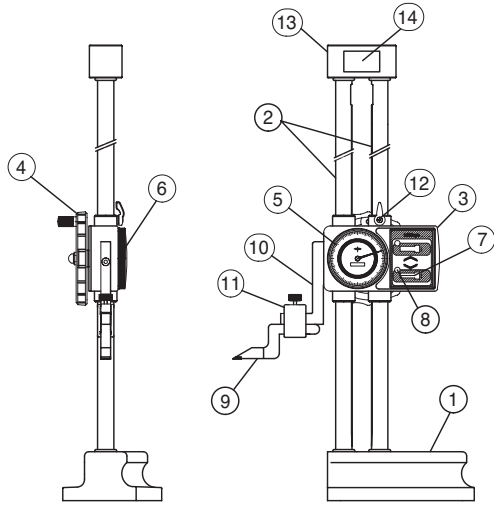


[1]



[1] 各部の名称

- |         |              |           |
|---------|--------------|-----------|
| ①ベース    | ②柱           | ③スライダ     |
| ④送りハンドル | ⑤ダイヤル目盛      | ⑥ダイヤル目盛枠  |
| ⑦カウンタ   | ⑧リセットボタン     | ⑨スクライバ    |
| ⑩ジョウ    | ⑪スクライバクランプ   | ⑫スライダクランプ |
| ⑬固定梁    | ⑭コラムタッチ防止ラベル |           |

[2] スクライバの取付け

下記の注意事項に留意の上、スクライバを取付けて下さい。



注意

- スクライバの先端は鋭利です。取扱いには十分に御注意ください。
- スクライバクランプは、十分に奥までジョウに差し込んでから締め付けてください。
- スクライバは必要以上に先に出さないで、できるだけ柱に近いところで取付けてください。なお、やむを得ず先に出して使用するときは、特に測定力に注意してください。
- スクライバはしっかりと取付けてください。

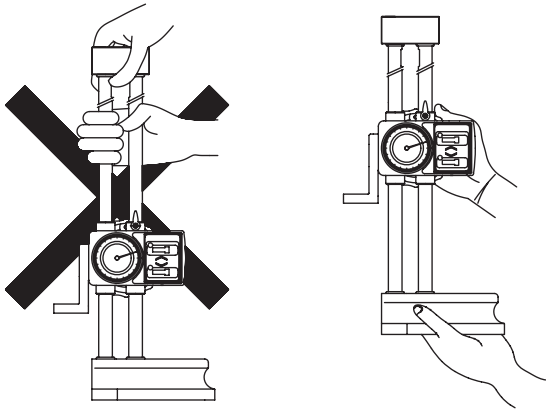
[3] 測定のまえに

- ベース基準面（底面）、スクライバの先端などは、きれいに拭いて切粉やゴミを取り除いてください。
- 固定梁⑬を持ってハイトゲージを移動しますと、精度が劣化することがあります。移動の際は、ベース底面を持ちスライダ裏面を軽く支えて移動してください。
- 測定のまえに、ゼロ点を確認してください。

注記

スライダを移動する際は、スライダクランプ⑫をゆるめてから、送りハンドルを回してください。

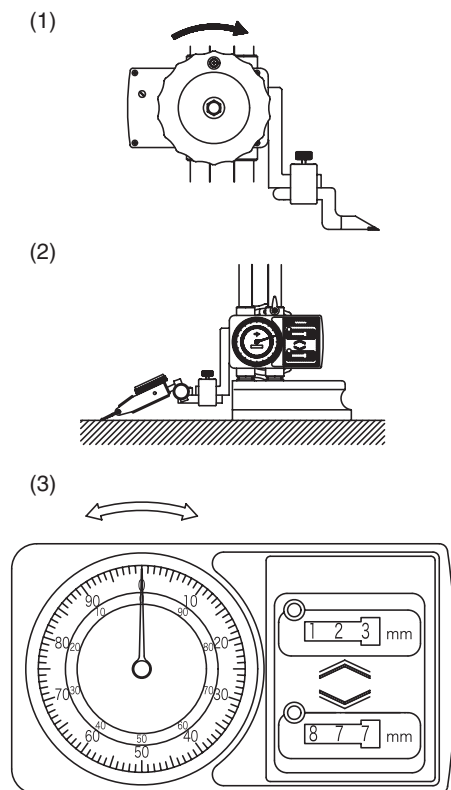
[3] (b)



[4] ゼロ点セット方法

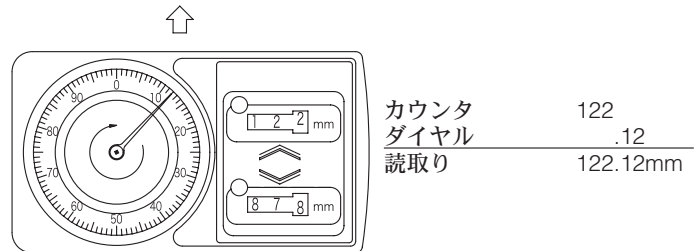
- スライダクランプをゆるめて、送りハンドルを、左図の矢印の方向に回すとスライダが下方向に移動します。
- スクライバまたはテストインジケータの測定子を軽く基準面にあててください。
- ダイヤル目盛と指針が合致しないときは、ダイヤル目盛枠を静かに回し、指針にゼロを合わせてください。
- カウンタリセットボタンを静かに押して、カウンタの数字をゼロセットしてください。

[4]

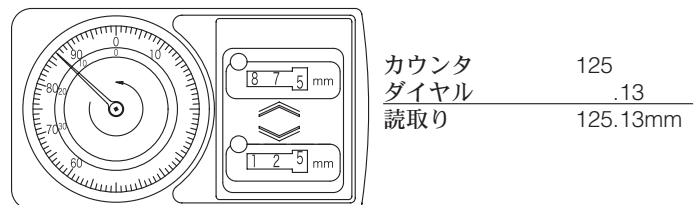


[5] 測定

- ゼロ点合せをした基準面 A から上方寸法を読取る場合、カウンタの上の数字を読み、ダイヤルゲージの指針は大文字を読みます。



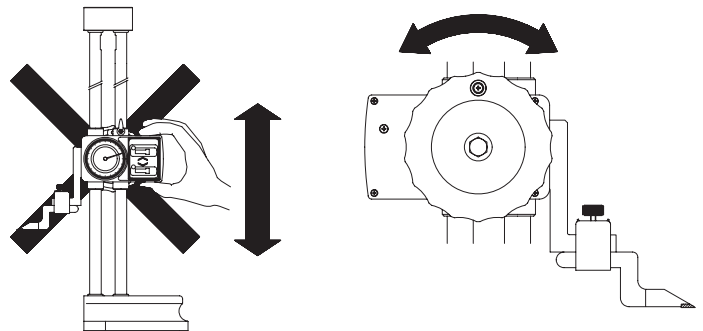
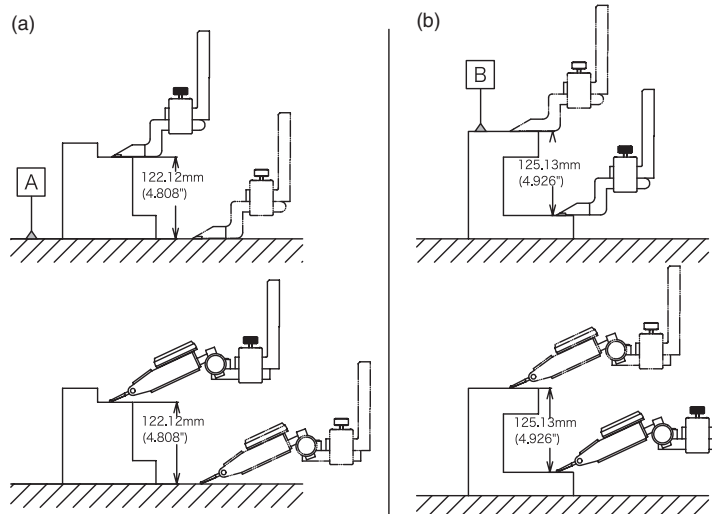
- ゼロ点合せの基準面 B からスライダを下方に移動させたときは、カウンタの下の方の数字を読み、ダイヤルゲージの指針は小文字を読みます。



重要

- ゼロセット、および測定の際にスライダを送り過ぎたときは、スライダを少し余分に戻して再び静かにスライダを移動してください。
- スライダを移動する際にスライダを持って上下に移動させますと、故障の原因となります。必ず送りハンドルを回して上下させてください。

[5]



[6] 測定を終了したら

- 使用後はスクライバが定盤に接触しない程度まで、スライダを下げて、付属の防塵カバーを柱にかけてください。
- 長期間ご使用にならないときは、ベースの底面、およびスクライバの取付け面には防錆油を塗布し、スクライバは取り外してください。

重要

- 柱に刻まれたラックに塵埃が付着しますと作動不良や精度不良の原因となります。
- 柱は、きれいな綿布でよく拭いて、少量の防錆油を塗布しておいてください。